



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

# 日赤あいち

No. 143

2020夏



## ▶ 今日、わたしたちにできることを、それぞれの場所で。

～日本赤十字社における新型コロナウイルス感染症への対応～

- ▶ 令和元年度決算概要
- ▶ 10代夏の献血キャンペーン
- ▶ クロスサポーターに聞く 共進発条株式会社
- ▶ 教室で学ぶ水の事故防止
- ▶ 日本赤十字豊田看護大学オープンキャンパス2020
- ▶ 終戦75年 日本赤十字社と戦時救護活動

## クロスサポーターに聞く!!

日本赤十字社愛知県支部とタイアップし様々な活動に取り組む企業、団体、人物を紹介します。

No. 31  
共進発条株式会社  
代表取締役  
長谷有希さん  
活動内容  
名古屋市南区にある創業65年のパネ製造・曲げ加工の専門メーカー。令和2年から赤十字を支援。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、手を触れずにドアの開け閉めなどができる「エチケット音」を開発し、自社サイトなどで販売。

### 「エチケット音」を通じて、社会・業界に貢献していく

「エチケット音」はパネを活かした商品ですが、長谷社長は複雑なパネを作る職人が減少している日本のパネ業界の状況を憂慮していると言います。「当社は機械生産の技術と、創業から引き継ぐ手作りパネの技術を両立させてきた。誰かのために働きたい」という思いを持ち続け、自衛隊員や消防吏員として働いた経験もある長谷社長。救急隊で働いていた頃から、赤十字は人のいのちを救っているというイメージがありました。昨年知人から赤十字の支援方法について聞き、企業として協力できることがあればと活動資金の支援に至りました。これからは赤十字には様々な人を救い続けてほしいです」と励まされたいました。

「新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、元々あったマイつり革の構想を具現化しようと決めました。沢山のアイデアの中から試作を重ねて出来上がったのが、「エチケット音」です。気持ち明るくなるように、との思いをト音記号に込めました」と長谷社長。マルチに使える機能や、相手側を傷つけない加工も特徴ですが、最もこだわったのが低価格であること。「学校が再開したら公共交通機関を使わなくてはならない学生が増えます。大人は車通勤や在宅勤務もできますが、学生達はそうはいきません。だからこそ学生達の手にも届く価格にこだわりました。無症状の人にも感染症なので、気づかないうちに感染を広めないよう皆に使ってほしい」と語ります。

「エチケット音」を開発してからは、コロナ禍で暗くなりかけていた社内の空気が「エチケット音」の開発によって明るくなったことが何よりも嬉しかった、と語る長谷社長

### 赤十字の支援を通じて

「エチケット音」を開発してからは、コロナ禍で暗くなりかけていた社内の空気が「エチケット音」の開発によって明るくなったことが何よりも嬉しかった、と語る長谷社長

### 活動資金

ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

- 有限会社興伸製作所 様
- 株式会社不二機販 様
- 三協化成産業株式会社 様
- 協和建材株式会社 様
- 株式会社メディアボックス 様
- スズラン株式会社 様
- 株式会社プロレド・パートナーズ 様
- 株式会社ミニミニグループ 様
- 株式会社ミニテック 様

赤十字事業は、皆さまからの活動資金のご協力によって支えられています。

郵便振替口座/00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部  
郵便局備え付けの払込取扱票でお手続きください。ご不明な点は日本赤十字社愛知県支部事務局総務企画部赤十字会員課まで。  
TEL 052-971-1596 (直通)

### PRESENT プレゼント

30名様に 共進発条株式会社様提供

#### エチケット音

直接触れることなく吊り革を持つなどの動作ができるマルチフック。使用後は石鹸で丸洗い可能

応募先  
MAIL aichi-koho@aichi.jrc.or.jp  
FAX 052-971-1586  
郵送 〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 日本赤十字社愛知県支部「日赤あいちプレゼント」係

【明記事項】  
①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号  
④年齢 ⑤「日赤あいち」の入手先 ⑥ご意見・ご感想など 締切/令和2年8月31日必着

Twitter Instagram

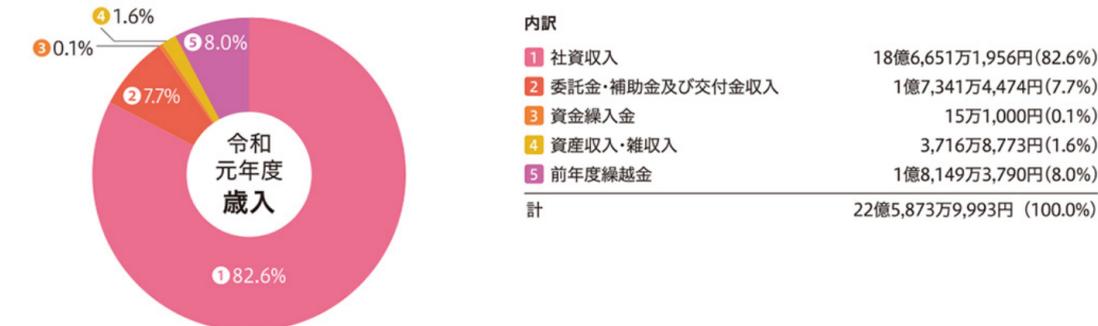
活動の詳細や最新情報はウェブサイトかSNSへ

日赤あいち 検索  
www.aichi.jrc.or.jp

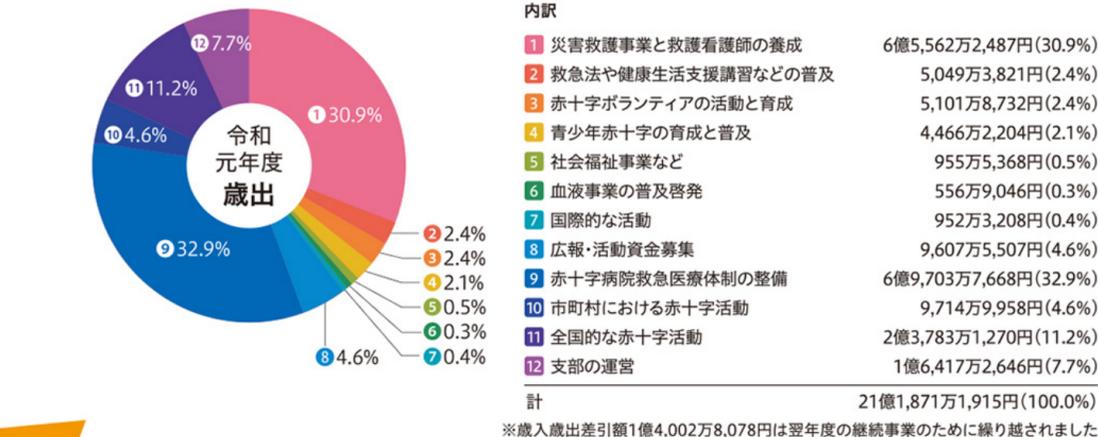
## 令和元年度日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出決算

令和元年度、愛知県支部では個人・法人の皆さまからいただいた会費(社費)や寄付金を主な財源として、災害救護をはじめとした人道支援活動を実施いたしました。

歳入22億5,873万9,993円



歳出 21億1,871万1,915円



### PICK UP

#### 災害救護事業と救護看護師の養成に

令和元年台風第19号災害に対し長野県へ救護班等を派遣。また、今後の災害への備えとして、訓練・研修や救護用資機材の整備等を実施しました。

#### 救急法や健康生活支援講習などの普及に

災害時だけでなく、日頃のけがや事故への備えとして、救急法等各種講習を実施し、47,016人が受講しました。

#### 赤十字ボランティアの活動と育成に

地域に密着した赤十字活動を展開できるよう、奉仕団員から養成された指導員による講習会を開催。また、多文化共生社会の実現に向け、「やさしい日本語」による講習や外国人救急法指導員による母国語での講習を実施しました。

#### 青少年赤十字の育成と普及に

子どもたちの健全育成を目的とし、学校・地域で活動できるリーダーの育成や国際交流などを実施。また、子どもたちの災害対応力向上のため、防災教材を活用した防災教育支援を展開しました。

※事業報告の詳細については、日本赤十字社愛知県支部のホームページでご覧いただけます

# 今日、わたしたちがにできることを、それぞれの場所で。

## 日本赤十字社における新型コロナウイルス感染症への対応



全国の赤十字病院を中心に  
新型コロナウイルス感染症に対応



日本赤十字社は、2月に横浜港に停泊したクルーズ船や海外からの帰国者一時滞在施設への救護班派遣など、政府からの要請に基づき感染拡大の初期から活動を開始。全国に緊急事態宣言が発令されたころには、感染症指定病院となっている病院など複数の赤十字病院で新型コロナウイルス感染症の患者の治療にあたりました。



新型ウイルス感染症について理解を深めていただくことで感染予防に役立てられればと、アニメーションなど様々なコンテンツを作成し、普及啓発を行いました。



「ウイルスの次にやってくるもの」/その他にも様々な新型コロナウイルスに関する動画を掲載しています



安全を確保した上で、  
献血を呼びかけ

緊急事態宣言下でも、輸血を必要とする患者さんがいる。2月下旬以降、イベントの中止や延期、企業の在宅勤務や外出自粛の動きに伴い、献血バスを配車予定であった会場が中止になるなど、献血者の減少が深刻な状況でした。しかし、日々安定的に医療機関へお届けする輸血用血液は、他に代わるものがないため継続的な献血協力者を頂くことが必要不可欠です。こうした状況を受け、街頭やウェブサイト・SNSなどを通じて、献血協力をお願いを広く呼びかけるとともに、血液センター(瀬戸市)及び豊橋事業所では日曜・祝日等の臨時開設を実施しました。

献血協力者の方の安全を守るために

各献血会場では、従来から感染症対策を十分に行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、対応職員の検温と健康チェックの実施、入退室時や受付対応時の手指消毒の徹底、看護師の手袋の対応者毎の交換、機材の消毒などの対策に加え、献血協力者の方にも入口での検温、手指消毒、マスク着用の協力をお願いするなど、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。



感染予防対策を講じた献血ルームの受付



子どもたちにも、新型コロナウイルスに関する正しい知識をわかりやすく

日赤愛知県支部では、子どもたちが正しい知識を身につけて感染予防と感染拡大防止に役立てられるように、新型コロナウイルス感染症がもたらす病気・不安・差別という3つの感染についてわかりやすく学ぶことが出来る啓発教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」(日本赤十字社作成)を県内の教育現場へ届けました。

### 教材を使用した教育現場の声

#### 長久手市立東小学校

長久手市立東小学校では、高学年のJRCリーダーを対象に感染症のリスクに対し自分たちができることは何か、そしてそれを他の児童にどう広めていくかを一緒に考える取組を行いました。



熱心に参加する児童たち

日頃からのJRC活動で「気づき、考え、実行する」ことが身につけている子どもたちからは、すぐにたくさんの意見が挙がり、発表場所となった掲示板は貼り出された提案でいっぱいになりました。

#### 安城市立東山中学校

安城市立東山中学校2年生のクラスでは、新型コロナウイルスの影響を正しく受け止めるための授業を行いました。「3つの感染」がどのような順で、なぜ起こるのかを班で話し合い、関連性について理解を深めました。その結果、「すぐにできるマスクや手洗いを差別するのではなく、命がけで戦ってくれている人を応援することも大事」といった振り返りが見られました。



負の連鎖はどうしたらなくせるだろう



困難なときこそ、ボランティア活動を

コロナ禍でも赤十字奉仕団は自主的に活動を続けていました。外出自粛期間中であっても「よりよい奉仕ができるように」という思いから、マスクを手作りして必要な機関に寄贈する活動が各地で行われました。



あま市赤十字奉仕団 大治町赤十字奉仕団

休校中の子どもたちが楽しく過ごせるように 県内5つの青年赤十字奉仕団が協力し、工作や間違い探しなどの自宅で楽しめるコンテンツを発信する活動(にっせきおうちキッズプロジェクト)を実施しました。



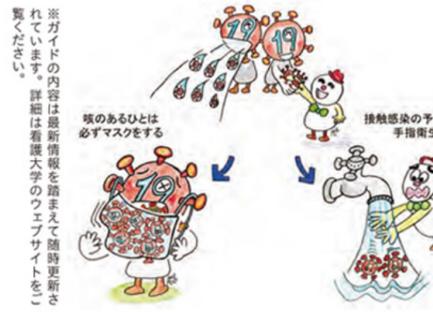
小児病棟での工作ボランティア活動を活かした工作レシピ



地域の感染拡大防止に貢献したい

日本赤十字豊田看護大学では、感染制御を専門とする同学の間、教授が作成した感染防止ガイドをウェブサイトやSNSを通じて発信しました。

このガイドは幅広い方々に理解して頂けるよう、イラストを使ってなるべく単純に、文章を読まなくてもわかるよう心掛けて制作されています。メディア取材や教育機関から教材としての問合せを受けるなど、反響もいただきました。



※ガイドの内容は最新情報を踏まえて随時更新されています。詳細は看護大学のウェブサイトをご覧ください。

# TOPICS

## 活動やイベントをご報告します



### 子どもの水の事故を防ぎたい

～「教室」で学ぶ水の事故防止～  
愛知県支部では例年夏季に多くの小学校で、水の事故から命を守るための着衣泳講習を行っています。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて水泳の授業の中止が相次いだため、着衣泳講習も実施できず安全指導の機会が少なくなっています。これに対し愛知県支部は、夏休み前の水の安全指導に役立てられるように、水の事故防止について学べるスライド教材を作成し、青少年赤十字加盟校(小学校)へ配布しました。この教材は愛知県支部のウェブサイトからもご覧いただけます。



### おうちでオープンキャンパス

日本赤十字豊田看護大学「WEB OPEN CAMPUS 2020」開催のお知らせ  
日本赤十字豊田看護大学では、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、令和2年7月18日(土)、8月8日(土)に開催を予定していたオープンキャンパスを中止し、ウェブ上で開催することとなりました。学校紹介、入試情報、授業の様子などの動画をオープンキャンパス特設サイトで公開予定です。赤十字の看護に触れる絶好の機会です。高校生の皆さん、ぜひご参加ください。



<https://www.rctoyota.ac.jp/prospective/opencampus.html>  
豊田看護 オープンキャンパス 検索



### 10代夏の献血キャンペーン!

～あなたの思いきつと届く今、私たちにできること。～  
愛知県赤十字血液センターでは「10代夏の献血キャンペーン」を実施します。県内8カ所の献血ルームまたは献血バスでご協力いただいた、10代の皆さんに、オリジナル記念品をプレゼントします!期間は令和2年9月30日までです。近年、若い方々の献血へのご協力が減り傾向にあります。輸血用血液を必要とする患者さんの命を守るためには、若い方々の献血へのご協力が必要です。ぜひ、この機会に献血へのご協力をよろしくお願いします。



### パネル展“日本赤十字社と戦時救護活動”

第二次世界大戦終戦から75年  
安城市歴史博物館において7月から開催されている「終戦75周年記念特別展 戦争に行くということ」とコロナし、期間中に同博物館内で日本赤十字社の成り立ちと戦時救護活動、そして現在の取組を紹介するパネル展示を行っています。会期は9月13日(日)までです。その他、特別展の詳細は安城市歴史博物館のウェブサイトをご覧ください。



### 東海豪雨から20年

あなたの体験談をお聞かせください  
平成12年9月11日から12日に東海地方を襲った集中豪雨により、名古屋市をはじめとする尾張東部では記録的な大雨が発生。県内の複数の河川が破堤するなどして広い範囲が浸水し、甚大な被害がもたらされました。

